

TEG[®] プレートレットマッピング

患者様ごとの血小板機能を評価



患者様本来の血小板機能を正しく理解することで
出血リスクを把握することができます。

プレートレットマッピングが、よりの確に治療への
選択をサポートします。

TEG プレートレットマッピング試験は、血餅形成に関わる
血小板機能を提供します。この結果から、トロンビン起因
の粘弾性試験では得られない情報により抗血小板薬の
効果を把握することが可能です。

TEG およびプレートレットマッピングは次のような疑問に対して、
価値ある情報を提供します。

- 抗血小板療法に反応する患者様の血小板機能は？
- 患者様の凝固能は？
- 手術中の出血リスクは？
- 血栓や虚血性イベントのリスクは？

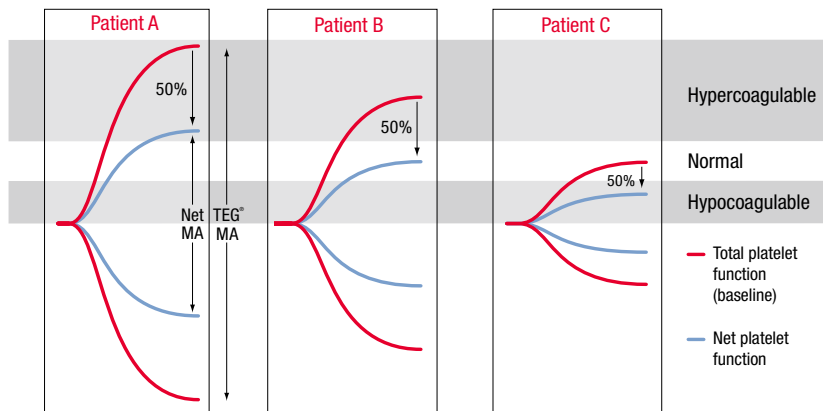


TEG® 6sのプレートレットマッピング試験は、患者様のリスク評価や治療に役立つ包括的な血液凝固能の情報を提供します。血餅形成におけるベースラインとしての凝固因子、血小板機能、血餅退縮などの凝固能の他に、レセプター特異的な血小板機能と抑制の状態を見ることができます。

「抑制率」で出血リスクがすべて分かるではありません

抗血小板薬に対する反応は患者様ごとに異なり、クロピドグレルを投与する30%程度の患者様は治療域に達していません。

また、患者様のベースラインによっては血小板機能が50%抑制されていたとしても、過凝固・正常・出血傾向のいずれである可能性もあります。



プレートレットマッピングの原理

血小板機能の抑制率は、患者様が潜在的にもつ最大の止血能をベースラインとして、特異的レセプターで活性化した血小板機能と比較して算出します。これにより患者様ごとの血小板機能の評価が可能となります。

プレートレットマッピングでは、4つの異なる試験により血小板機能を評価します。

カオリン試験：血小板を最大限に活性化するためのトロンピンを生成させ、血小板とフィブリノーゲンによる患者様の潜在的な最大血餅強度を表します (MA_{Thrombin})。

ActF試験：トロンピン活性を完全抑制し、血小板機能を排除したフィブリンのみの血餅強度を示すため、特別な活性化剤を使用します (MA_{ActF})。

ADPおよびA₂A試験：トロンピン生成を完全に抑制し、ADPレセプター (チエノピリジン系) やトロンボキサンA₂レセプター (アスピリンが作用) により血小板を活性化し、各レセプター特異的に血小板を活性化させた際の血餅強度を表します (MA_{ADP}またはMA_{AA})。

オーダー情報

品名	品番
プレートレットマッピングカートリッジ 10個/箱	07-614
プレートレットマッピングADPカートリッジ 10個/箱	07-615

届出番号：13B1X009900002

TEG®での結果を診断に対する唯一の基準としないでください。詳細については、取扱説明書および添付文書をご確認ください。

© 2016 Haemonetics Corporation. Haemonetics, Haemonetics The Blood Management Company, TEGは、米国および/またはその他の国におけるHaemonetics Corporationの商標または登録商標です。無断複写・転載を禁じます。PlateletMappingはCoraMed Technologies LLCの登録商標です。 04.2016 USA. COL-PP-000196-JAJA(AC1)

各国の営業拠点や連絡先についてはこちら (www.haemonetics.com/officelocations) をご覧ください。

ヘモネティクスジャパン合同会社 ■ 〒102-0082 ■ 東京都千代田区一番町16番地 ■ 共同ビル ■ www.haemonetics.co.jp